

科目名	スポーツトレーナー実践 I					
分野	その他の分野	担当教員	深谷 高治			
開講時期	1学年 1学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	30				2	
科目の概要	国家資格保有者(柔道整復師)トレーナーとして、より高いレベルのアスリートやチームでサポートすることや健康産業において顧客のニーズに応えられる健康増進スペシャリストを目指す。運動器を中心とした解剖学を基礎とし、スポーツ傷害の発生メカニズム、傷害の評価、処置法と予防法、治療、リハビリテーションといったスポーツ傷害発生から現場復帰までのプロセスの基礎知識を座学と実技で学ぶ。					
学習の到達目標	外傷、傷害に対する応急処置、受傷後の傷害評価、治療、リハビリ、そして現場復帰の一連のプロセスなど、現場で必要な技術、知識のノウハウを習得できるようになることが目標					
成績評価の方法と基準	試験結果、提出物、授業態度を考慮し総合的に評価する。					
使用テキスト	プリント配布					
参考文献	なし					
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	筋力トレーニング: 上肢の押す動作に作用する筋肉について1					
2	足関節捻挫の病態理解とテーピング固定法(ホワイトテーピング)1					
3	筋力トレーニング: 上肢の押す動作に作用する筋肉について2					
4	足関節捻挫の病態理解とテーピング固定法(ホワイトテーピング)2					
5	筋力トレーニング: 上肢の引く動作に作用する筋肉について1					
6	足関節捻挫に対する弾力性テーピング固定法1					
7	筋力トレーニング: 上肢の引く動作に作用する筋肉について2					
8	足関節捻挫に対する弾力性テーピング固定法2					
9	筋力トレーニング: 下肢の押す動作に作用する筋肉について1					
10	足関節捻挫に対する綿包帯を用いた固定法1					
11	筋力トレーニング: 下肢の押す動作に作用する筋肉について2					
12	足関節捻挫に対する綿包帯を用いた固定法2					
13	筋力トレーニング: 下肢の引く動作に作用する筋肉について					
14	筋力トレーニングの復習					
15	総合評価(まとめ)					

(2023年度)